

「職業実践専門課程」の実態等に関する調査研究

中間報告資料

2016年12月19日

MRI 株式会社三菱総合研究所

1. 調査概要

1 調査概要

■調査件名：

「職業実践専門課程の実態等に関する調査研究」アンケート調査

■調査方法：

ウェブアンケート調査（要望に応じ、紙媒体で実施）

■調査対象、配布数／回収数／回収率及び主な項目：

種別	配布数	回収数	回収率	主な項目
学科調査	4,439	2,367	53.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・認定状況、認定を受けた／受けない理由 ・要件別取組状況 ・改善状況 ・課題
認定学科	2,540	1,685	66.3%	
非認定学科	1,899	624	32.9%	
学校調査（非認定）	1,500	680	45.3%	・認定を受けない理由、改善状況、要望
在学生調査	17,756	8,814	49.6%	・学習への取組状況、教育効果、学校への要望
<u>卒業生調査</u>	4,439	1,878	42.3%	・在学時代の学習経験、教育効果、学校への要望
<u>高校調査</u> （新規）	4,830	2,613	54.1%	・制度認知度・機会・有用性、専修学校への期待

※在学生調査は、各学科4名（社会人学生2名を含む）に依頼。卒業生調査は、各学科1名（卒後1年目）に依頼

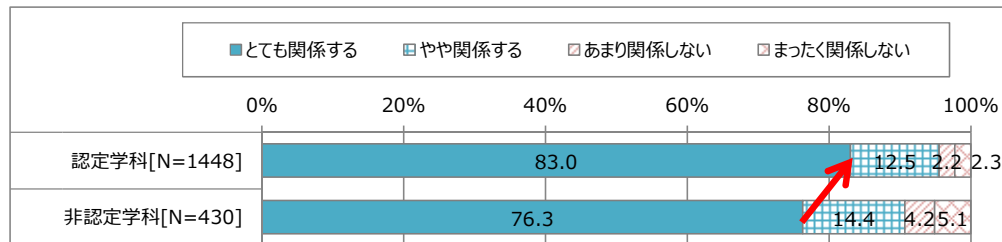
2. 卒業生調査結果

2-1 現在の仕事について

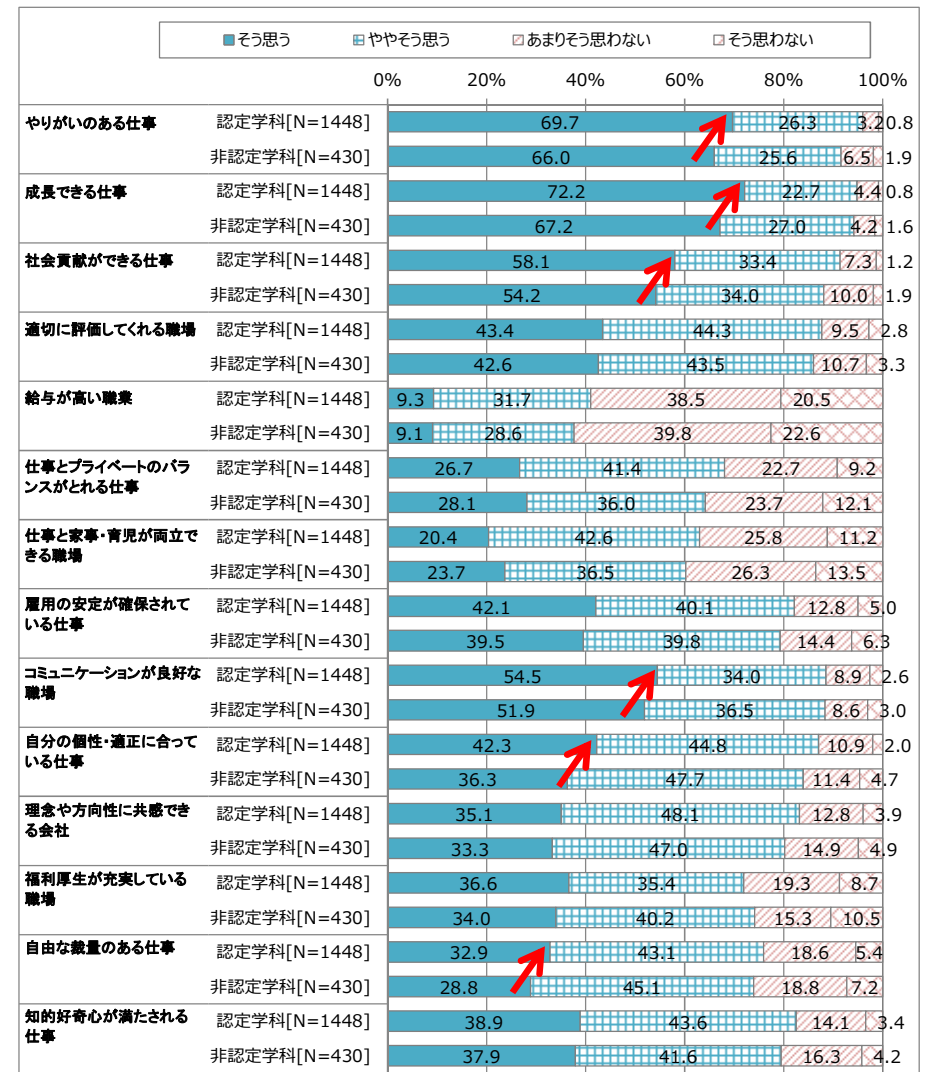
卒業生調査

■認定学科の卒業生は「職業と学習分野」の関係が強いものが多く、職場等への評価もやや肯定的

図表 現在の職業と学科の分野との関係（単数選択）



図表 現在の職場・仕事への評価（各単数選択）

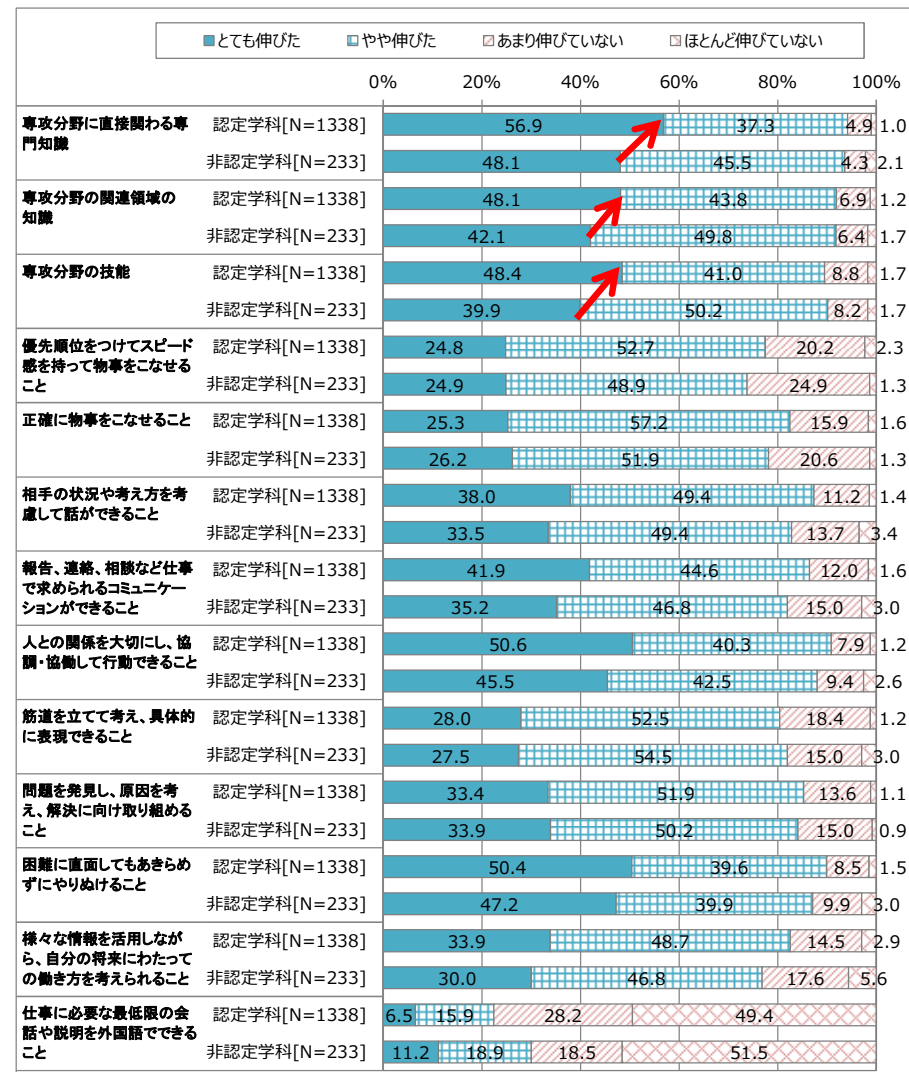


2-2 伸びたと思う能力

卒業生調査

■認定学科の卒業生は「知識・技能」で教育効果が高いと考えるものがやや多い

図表 在学時代に伸びたと思う能力（各単数選択）

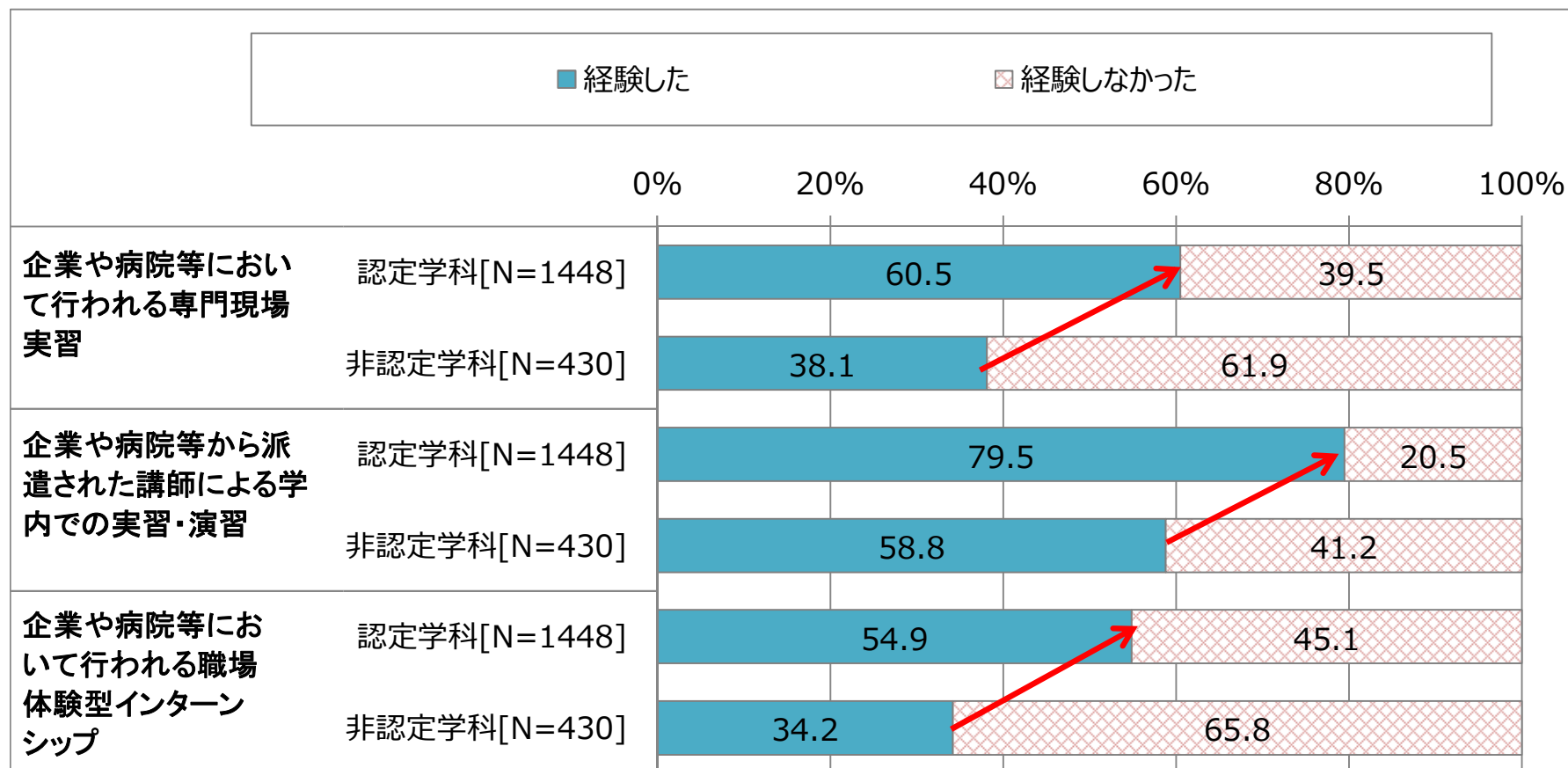


2-3 「企業等と連携した実践的な教育」の受講経験

卒業生調査

■認定学科の卒業生は、非認定学科の卒業生に比べて、学内における実習・演習だけでなく、企業等と連携した企業内実習や職場体験型インターンシップの受講割合が高い

図表 企業等と連携した実践的な教育経験（各単数選択）

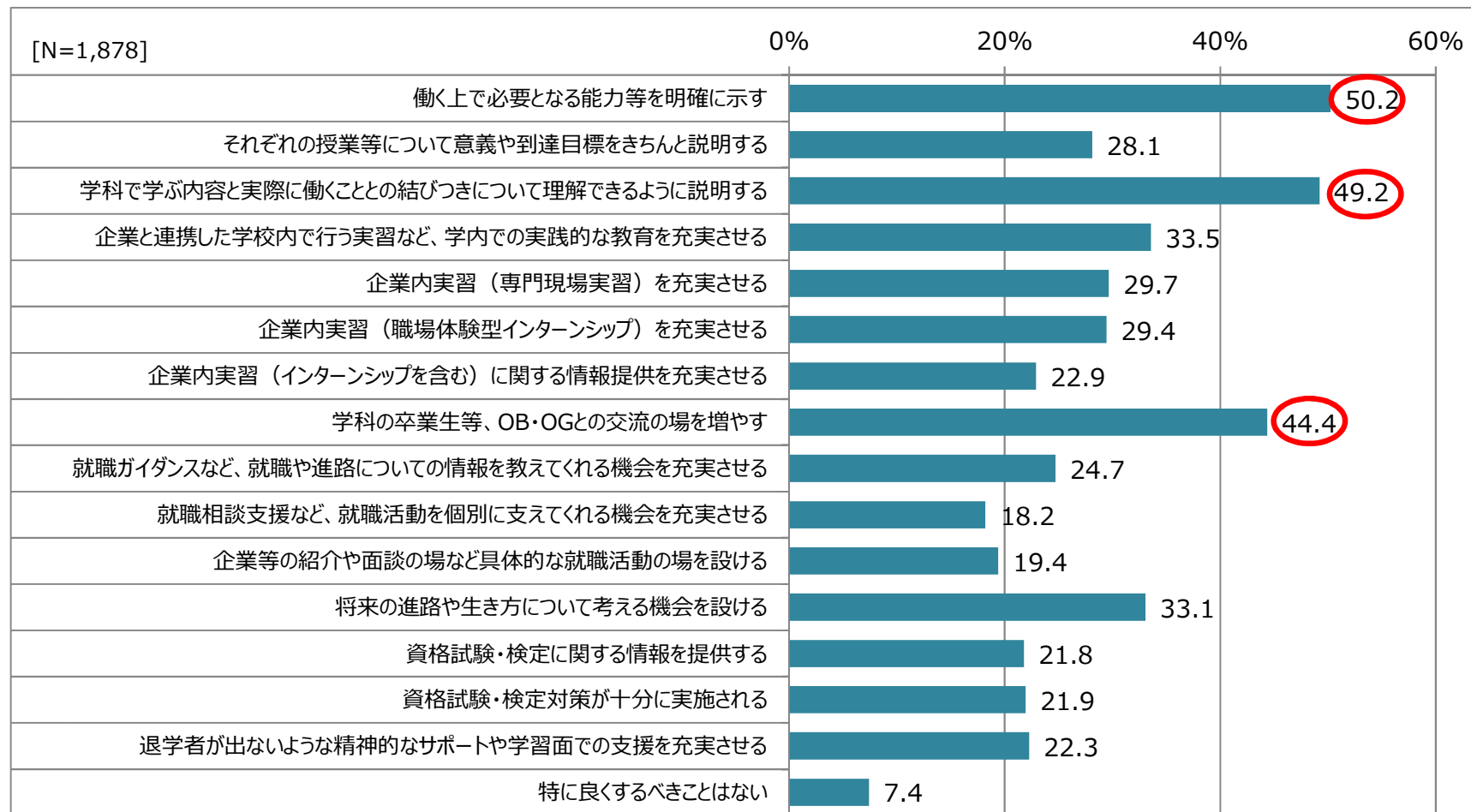


2-4 専門学校卒業生による学校への改善要望

卒業生調査

■「必要な能力等の明確化」「働くこととの結びつきの説明」「卒業生等との交流の場の増加」が上位

図表 学校・学科の教育の進め方等への改善要望（単数選択）



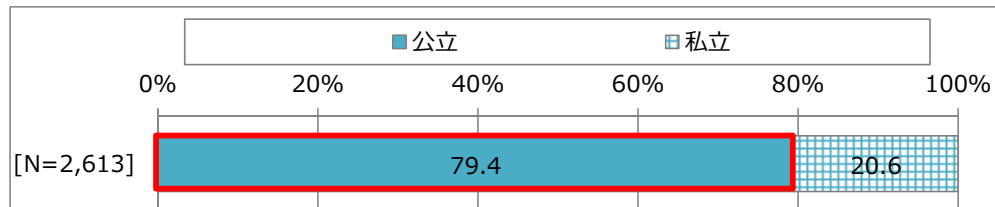
3. 高校調査結果

3-1 回答校属性

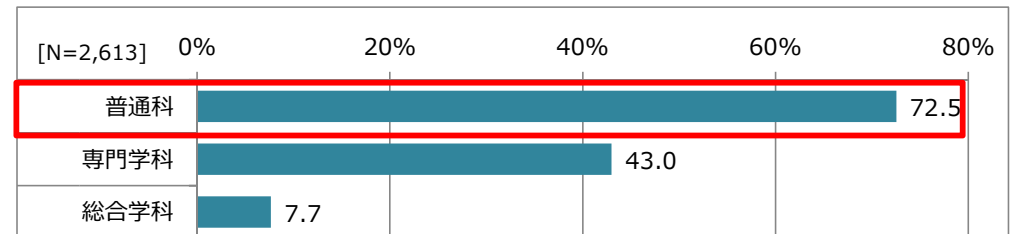
高校調査

■「公立・普通科・全日制・例年30名以上の専門学校への進学」が主な回答層

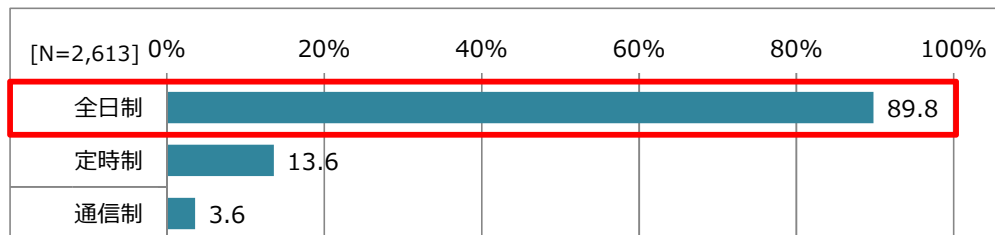
図表 設置形態（単数選択）



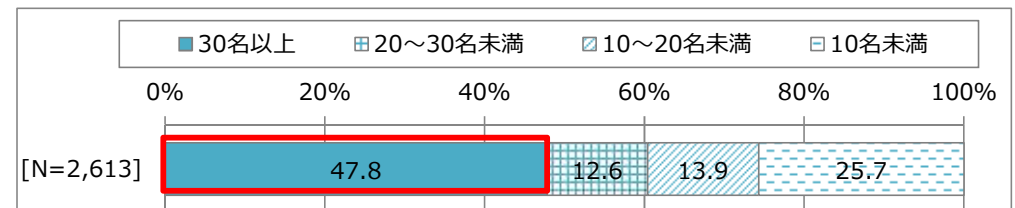
図表 設置学科（複数選択）



図表 設置課程（複数選択）



図表 専門学校への例年の進学者数（単数選択）



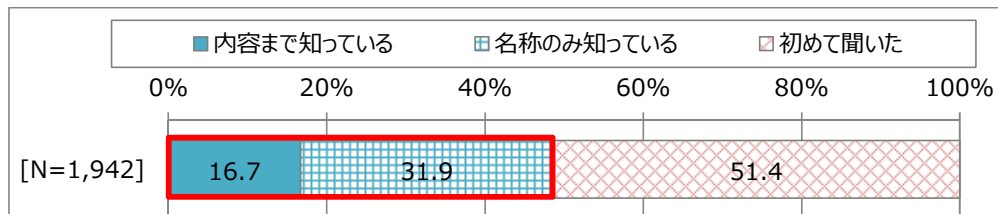
以降の設問は「専門学校への例年の進学者数が10名以上」と回答した学校が対象

3-2 「職業実践専門課程」の認知度・認知機会

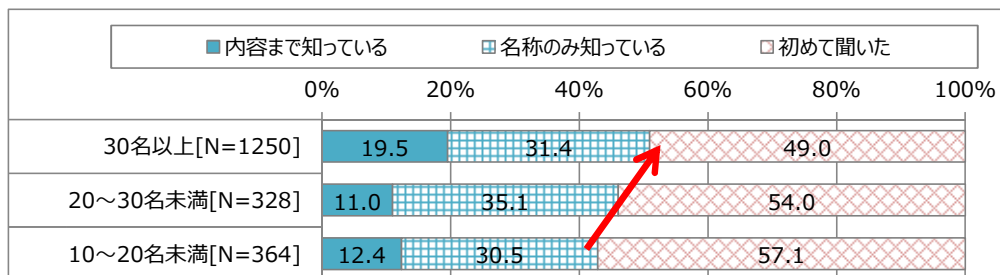
高校調査

- 高校における認知度は「少なくとも名称まで知っている」が約半数で、概ね進学状況に比例
- 認知機会は「専門学校の教職員からの説明」「案内資料」「自治体等からの連絡」が上位

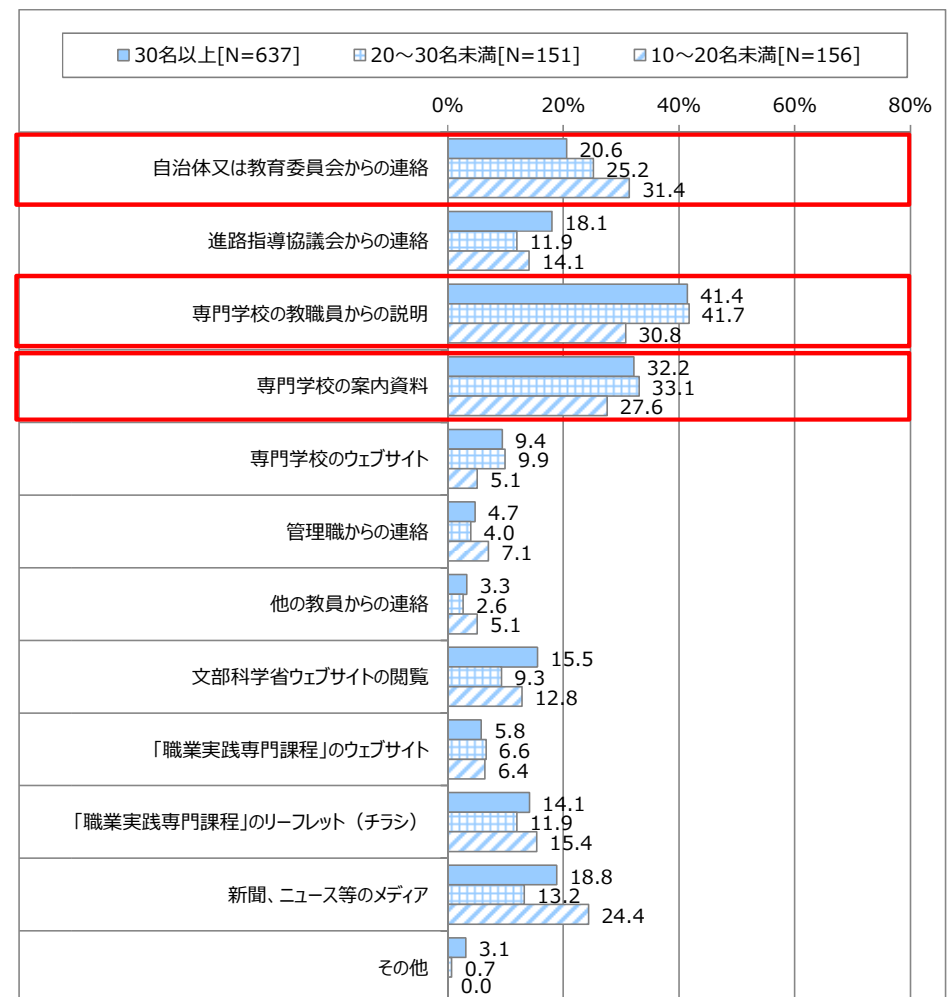
図表 制度の認知度（単数選択）



図表 制度の認知度（進学者数別）（単数選択）



図表 制度の認知機会（進学者数別）（複数選択）

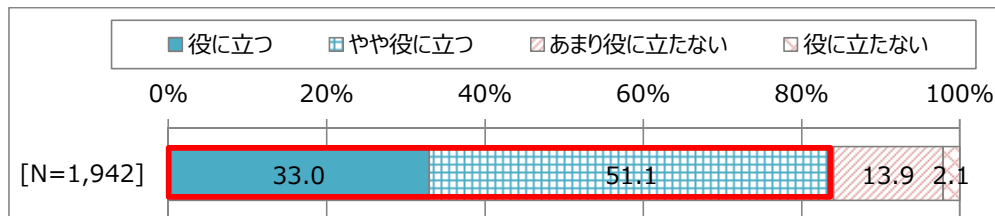


3-3 「職業実践専門課程」への評価

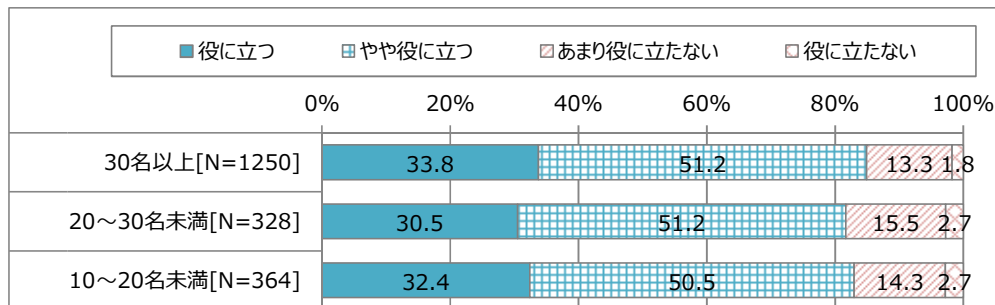
高校調査

- 制度が進学相談・指導の際に「役に立つ」が約1/3で、「やや役に立つ」を含めると8割強
- 5～6割が、「高校・高校生・保護者」や「認定効果」の周知充実が必要と回答

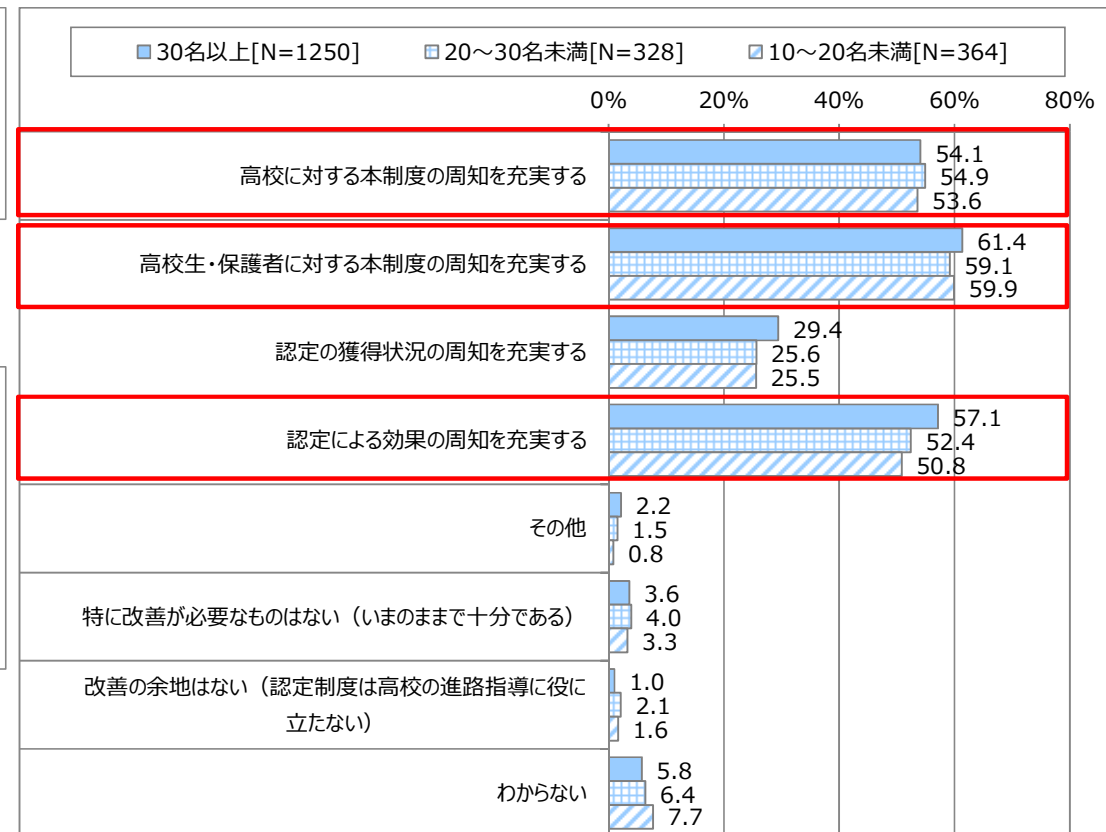
図表 進学相談・指導における有用性（単数選択）



図表 進学相談・指導における有用性（進学者数別）
（単数選択）



図表 進路指導等により役立たせるための方法（複数選択）

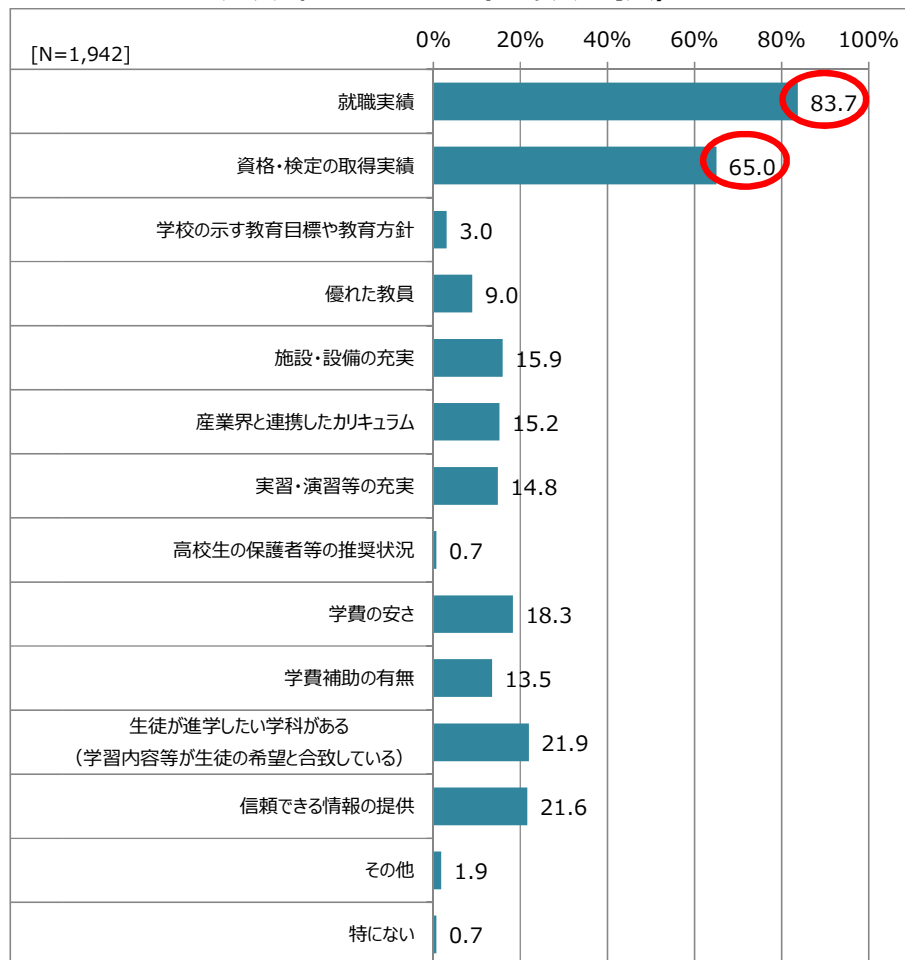


3-4 専門学校への期待・情報公開ニーズ

高校調査

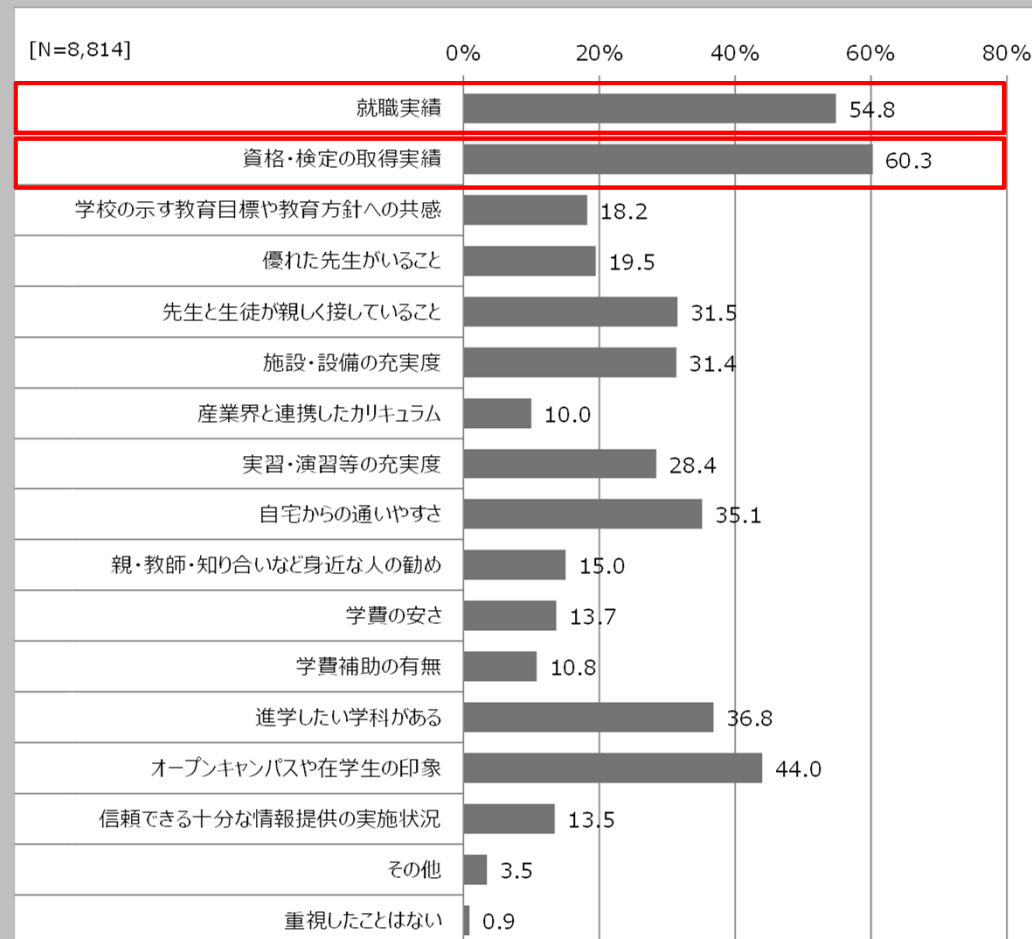
- 進学相談等での専門学校への期待は「就職実績」が8割強、「資格・検定の取得実績」が約2/3
- 生徒の進学先選択時の重視事項においてもこれらが上位 【在生調査】

図表 専門学校への進学相談・指導にあたり高校が期待すること（複数選択）



【在生調査】

図表 進学先選択時の重視事項（複数選択）

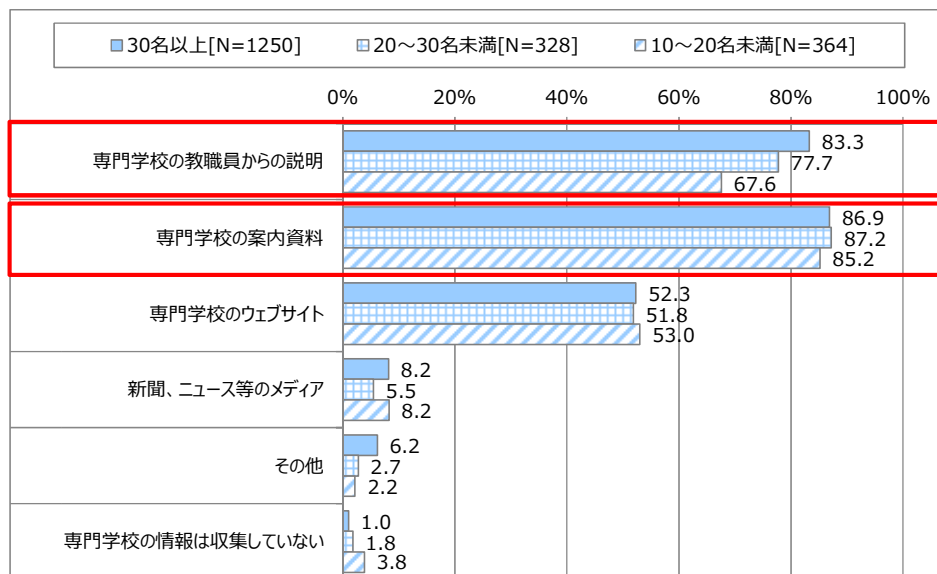


3-5 専門学校に関する情報収集方法・不足情報

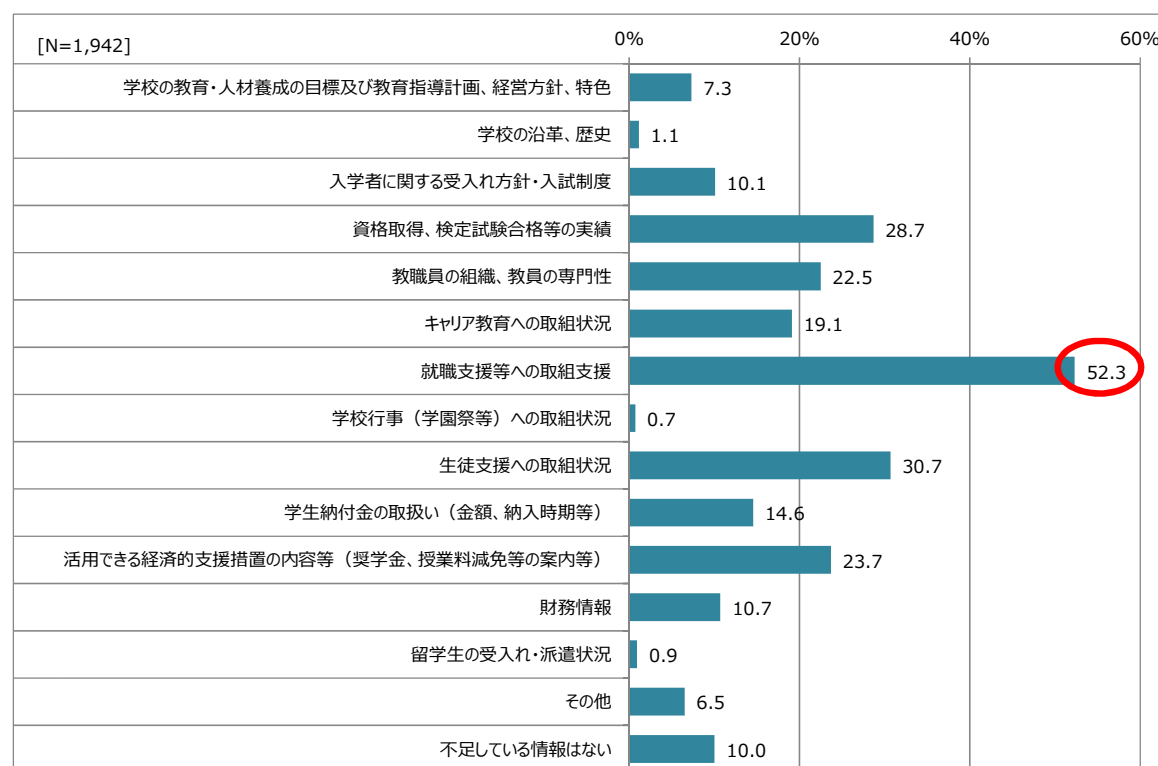
高校調査

- 高校による情報収集方法は「専門学校の教職員からの説明」「案内資料」が上位
- 不足している情報は「就職支援等の取組支援」が約半数

図表 情報収集方法（複数選択）



図表 進学相談・指導時に不足している情報（複数選択）

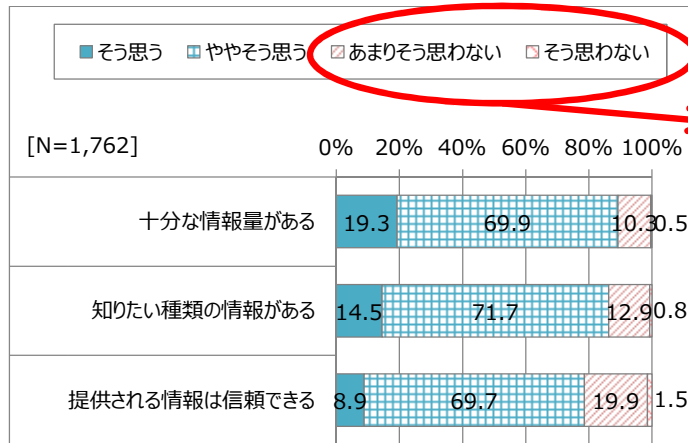


3-6 専門学校が提供する情報に関する評価

高校調査

■「情報量」や「情報の種類」は多いものの、「情報の信頼性」への評価が相対的に低い

図表 情報への評価（各単数選択）



図表 専門学校が提供する情報が不十分と考える理由（自由回答）

種類	代表的意見（要約）
基本的な情報がない	<ul style="list-style-type: none"> 募集定員の充足率、正規教員数、経営状況、財務状況についての情報がない。 学費免除や奨学金などの情報が掲載されているが、その対象者数や希望者数が記載されていない。 教員の情報がほとんど掲載されていない。 最新の情報に更新されていないものが多い。
情報に統一性がない	<ul style="list-style-type: none"> 学校ごとに掲載している情報が異なっており、共通した記載事項が無いので理解しにくい。 学校によって情報量、情報の種類にバラつきがあり、比較しにくい。 就職実績や資格取得実績、国家試験合格実績などが、学校によって集計方法が異なっている。
データの根拠が不明確	<ul style="list-style-type: none"> 資格合格率100%があまりにも多い。資格取得率や就職率の母数が入学生なのか卒業生なのか明記されていない。 割合だけが掲載され、在校生数や受験者数、合格者数の実数が示されていない。 年度の表示がなく、前年度の実績なのか、過去数年分の実績なのかがわからない。
教育内容等に関する情報が ない	<ul style="list-style-type: none"> 日常の授業の様子や生徒の指導実態・対応が見えてこない。 授業についていけないなど課題のある生徒をどのように支援しているか、入学後の指導の様子が不明。 掲載されている情報と、卒業生から聞いた実際の授業内容等に差がある。



株式会社三菱総合研究所